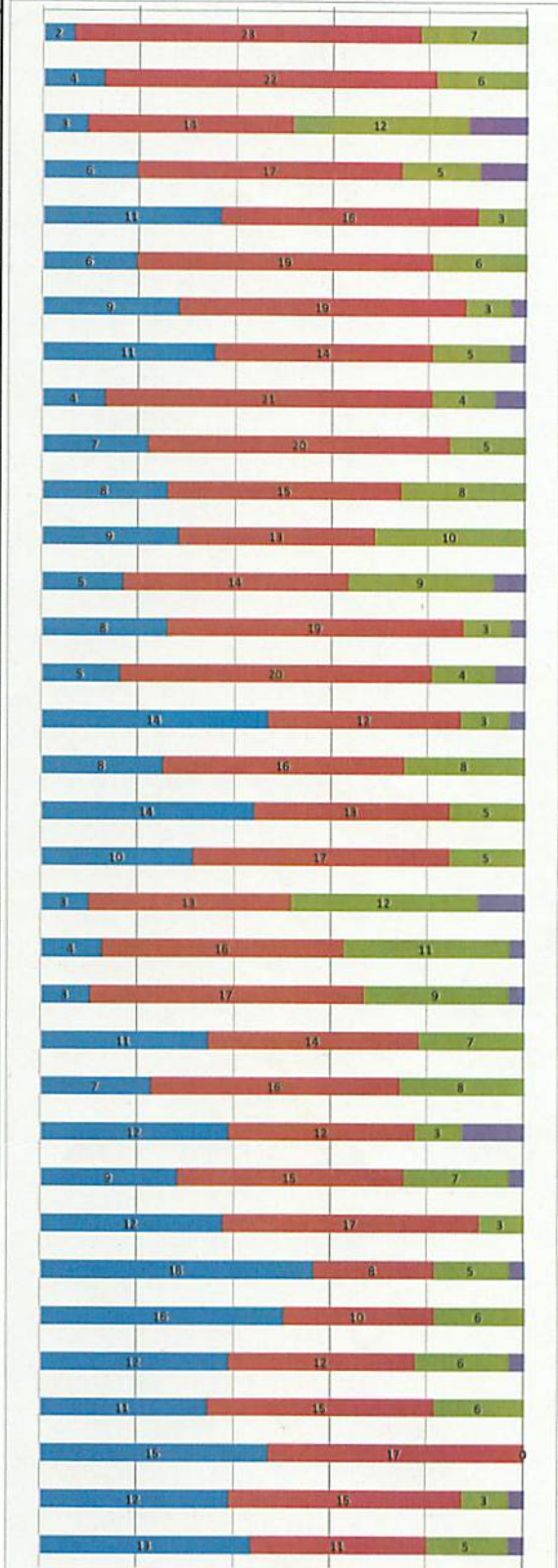
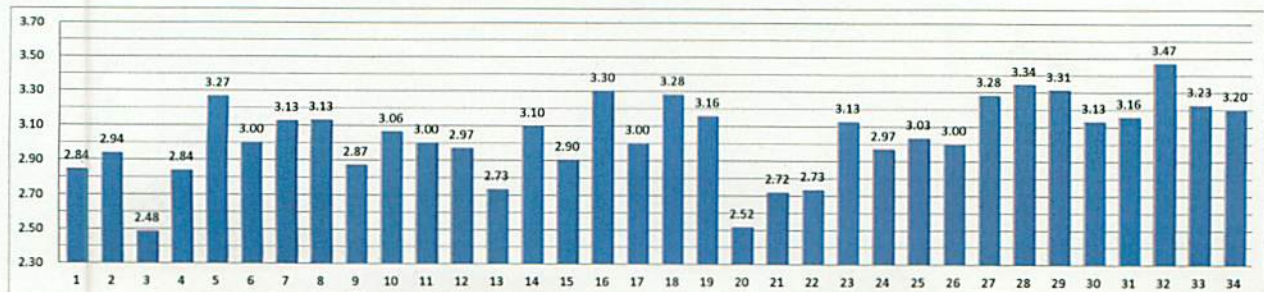


学校評価(内部評価)集計結果

領域	No.	質問項目	評点	A	B	C	D
教育目標 学校経営	1	学校教育目標、経営の方針、経営の重点を日々の教育活動に生かすような実践に努めましたか。	2.84	2	23	7	0
	2	児童生徒の実態や保護者の教育的ニーズを反映した、具体的な学部、学級目標を設定し、開かれた学校教育を進めていますか。	2.94	4	22	6	0
組織運営	3	学校教育目標の実現のため、教職員が一体となり、経営参画の意識を持ちながら組織的に運営されていますか。	2.48	3	14	12	4
	4	各組織(学部・分室・学級等)活動について、PDCAのマネジメントサイクルで評価・改善を図っていますか。	2.84	6	17	5	3
学習指導	5	児童生徒の実態や進路希望に即した教育課程を編成・実施していますか。	3.27	11	16	3	0
	6	各教科科目の年間指導計画を明確に説明し、学習内容や進度をわかりやすく説明していますか。	3.00	6	19	6	0
	7	個々に合わせた教材研究がなされており、興味関心を高めるような効果的な授業展開をしていますか。	3.13	9	19	3	1
	8	児童生徒の実態や興味関心に応じた指導方法の改善や工夫をしてITや習熟度別授業を実施していますか。	3.13	11	14	5	1
	9	児童生徒の学習評価は、明確で適切であり、説明責任を十分に果たしていますか。	2.87	4	21	4	2
生徒指導	10	日常生活指導をきめ細かく行っており、児童生徒の思いや感情を察しながら、客観的な個々の理解に努めていますか。	3.06	7	20	5	0
	11	児童生徒の自主性を養い、自分の意見を主張できる資質を育成するとともに社会で必要な常識・マナー指導をしていますか。	3.00	8	15	8	0
	12	異校種との交流および共同学習等とおし、児童生徒の人間関係育成能力を高めていますか。	2.97	9	13	10	0
	13	いじめ防止やいじめの早期発見のための取り組みを積極的にを行っていますか。	2.73	5	14	9	2
研究研修	14	『個別の指導計画』『個別の教育支援計画』を作成し、一人一人の実態に即した教育活動を行っていますか。	3.10	8	19	3	1
	15	教員個々が自分の研究課題を持ち、自らの資質向上を目指す研修を行い、日々の教育活動に生かしていますか。	2.90	5	20	4	2
	16	授業の改善を目指す授業公開に努めましたか。	3.30	14	12	3	1
地域連携	17	学校行事等では、児童生徒が積極的に参加し、外部の方々との交流を通して社会的視野が広がる機会となるように工夫していますか。	3.00	8	16	8	0
施設設備	18	個々の実態に即した教育活動のため、バリアフリーの設備を有効活用しながら、教育環境の整備、維持向上に努めていますか。	3.28	14	13	5	0
	19	児童生徒の学習の充実のために教材・教員の活用に努めましたか。	3.16	10	17	5	0
進路指導	20	社会のしくみや仕事について学習し、働く意義や自分の人生設計などのキャリア教育を計画的に推進していますか。	2.52	3	13	12	3
	21	自らの可能性を追求し、資格取得や進学指導、インターンシップ等の実施を積極的にすすめていますか。	2.72	4	16	11	1
	22	将来の自立した生活のための自己表現力の育成に努めましたか。	2.73	3	17	9	1
教育相談	23	地域におけるセンター校として、幼・小・中・高の特別支援教育の充実のためにきめ細かな支援を行っていますか。	3.13	11	14	7	0
	24	児童生徒が自己理解を深め、自分の心のあり方を落ち着かせるような様々な指導や心理的ケアを実践していますか。	2.97	7	16	8	0
健康安全指導	25	児童生徒の健康について、病院と連携した健康管理を行っていますか。	3.03	12	12	3	4
	26	自分の健康状態について正しく把握し、コントロールしていく力を育成していますか。	3.00	9	15	7	1
	27	防災や防犯に関する安全指導を実施し、安全管理の徹底を行っていますか。	3.28	12	17	3	0
特色ある 教育活動	28	体育において、ハローウィック水泳法を活用した水泳授業を開し、児童生徒が意欲に取り組みするような指導をしていますか。	3.34	18	8	5	1
	29	車椅子によるスポーツを在校生と卒業生が協力しながら運動し、スポーツの持つおもしろさが体験できるような取り組みを進めていますか。	3.31	16	10	6	0
	30	ICTを活用した基礎学力の向上と、卒業後を見据えた能力の育成に努めましたか。	3.13	12	12	6	1
情報公開	31	ホームページ・学校だより・学部学級通信等により日々の教育活動を的確にわかりやすく伝えていますか。	3.16	11	15	6	0
事務に関する こと	32	児童生徒の金銭出納に関する諸事務(学費やその他費用)の取り扱いを適切に行いましたか。	3.47	15	17	0	0
	33	一般備品や消耗品に関する予算や執行状況を知り、予算の有効活用に努めましたか。	3.23	12	15	3	1
	34	学校予算に関して、必要に応じて全体に明らかにするよう努めましたか。	3.20	13	11	5	1

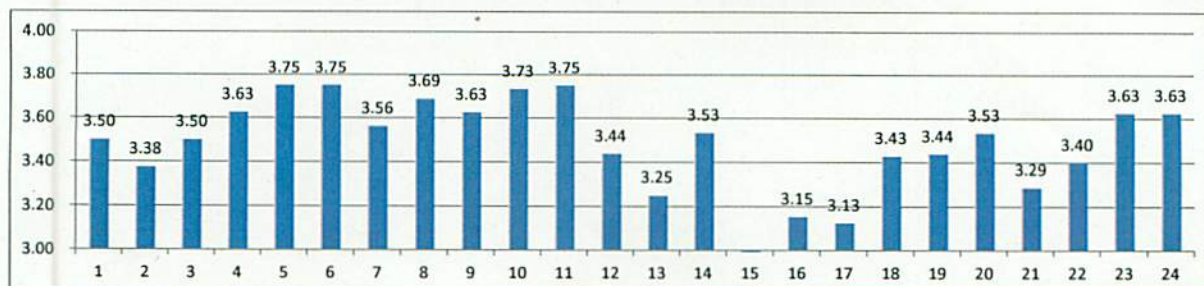
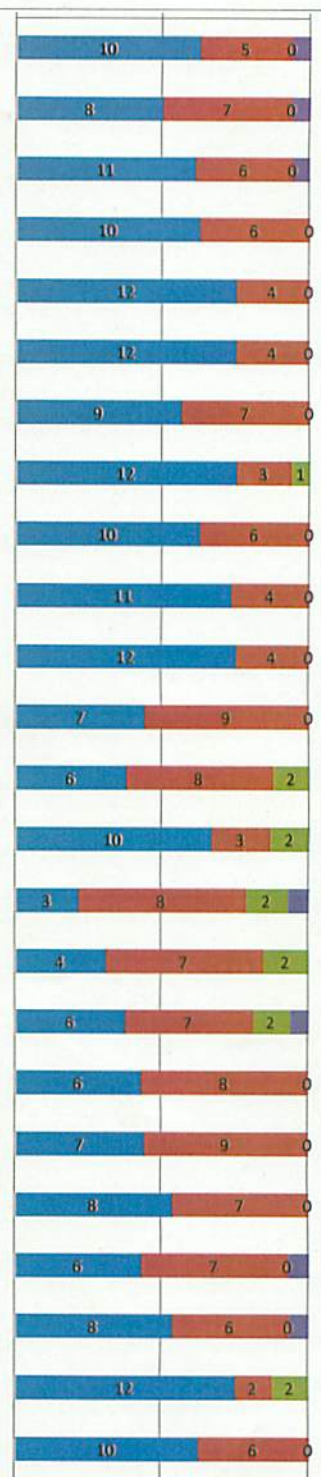


3.04 302 532 202 31

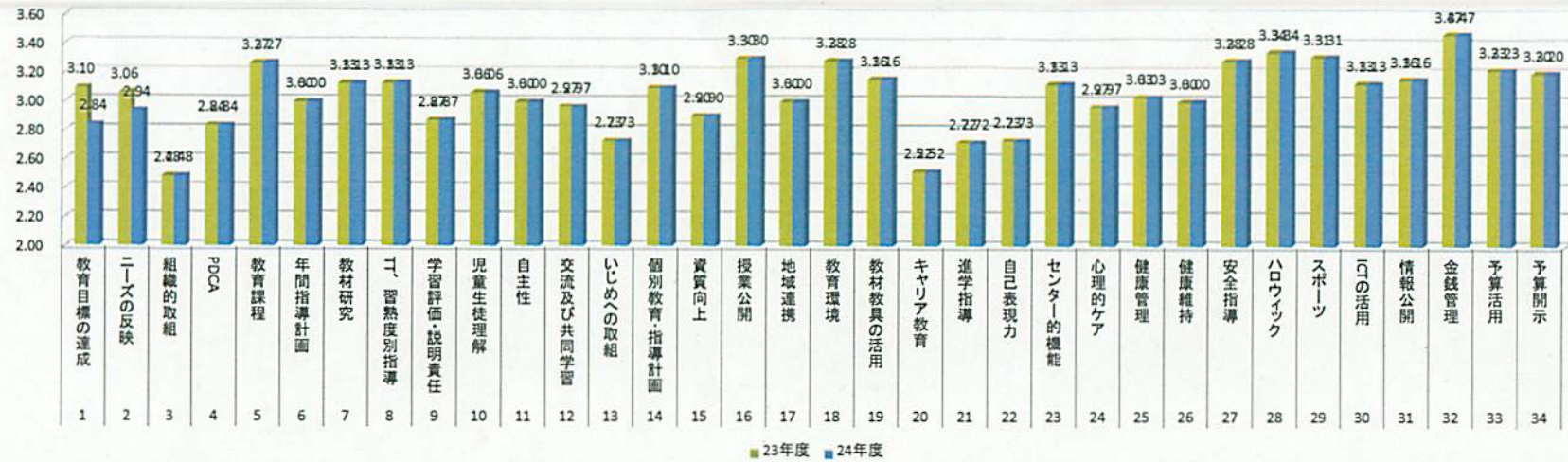


学校評価(保護者アンケート)集計結果

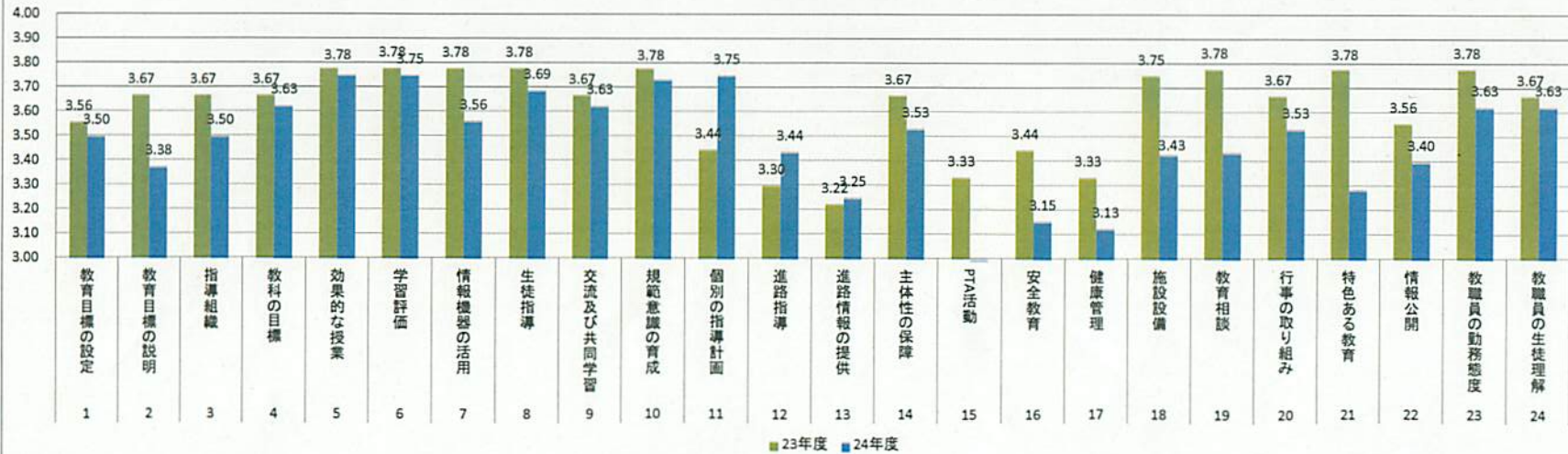
領域	No.	質問項目	評点	A	B	C	D
教育目標 学校経営	1	本校の教育目標は『社会の中で自らの可能性を追求する人間性豊かな人を育てる』です。この目標がお子さんの実態や保護者・地域の方々の願いを踏まえたものとなっていると思いますか。	3.50	10	5	0	1
	2	学校教育目標や教育方針をわかりやすく説明していると思いますか。	3.38	8	7	0	1
組織運営	3	小学部から高等部までお子さんの成長に合わせて連携した指導をしていると思いますか。	3.50	11	6	0	1
学習指導	4	それぞれの教科の目標がわかりやすく説明され、お子さんの興味や関心を踏まえた授業をしていると思いますか。	3.63	10	6	0	0
	5	お子さんの実態に合わせた教材が使われ、効果的な授業が行われていると思いますか。	3.75	12	4	0	0
	6	一人一人の学習についての評価は適切に行われていると思いますか。	3.75	12	4	0	0
	7	パソコンや情報機器を活用して、お子さんが学習に主体的に参加できるような環境づくりが行われていると思いますか。	3.56	9	7	0	0
生徒指導	8	生徒理解に努め、優しさと思いやりをもち、きめ細かな生徒指導が十分に行われていると思いますか。	3.69	12	3	1	0
	9	交流及び共同学習などにより、お子さんのコミュニケーション能力の向上が図られていると思いますか。	3.63	10	6	0	0
	10	日々の挨拶の実践や、きまりを守る指導の成果が表れていると思いますか。	3.73	11	4	0	0
指導計画	11	個別の指導計画等は児童生徒一人一人の実態に応じたものとなっていると思いますか。	3.75	12	4	0	0
進路指導	12	進路指導では、保護者の考えやお子さんの将来を見据えた進路の支援が行われていると思いますか。	3.44	7	9	0	0
	13	進路に関する適切な情報提供が行われていると思いますか。	3.25	6	8	2	0
地域との連携	14	様々な行事では、児童生徒の個性や主体性を大切にしたい取組が行われていると思いますか。	3.53	10	3	2	0
	15	PTA活動は計画的に、活発に行われていると思いますか。	2.93	3	8	2	1
健康安全指導	16	避難訓練や防犯訓練などによるお子さんの安全確保が行われていると思いますか。	3.15	4	7	2	0
	17	お子さんの健康について、病院との連携による健康管理が行き届いていると思いますか。	3.13	6	7	2	1
施設設備	18	掲示の工夫による学習環境の整備や、校舎内外の施設設備の管理や安全点検が行われていると思いますか。	3.43	6	8	0	0
教育相談	19	お子さんが自己理解を深め、落ち着いた学校生活が送れるような指導や心理的ケアが正しく行われていると思いますか。	3.44	7	9	0	0
行事	20	体育祭や学校祭はお子さんの発達段階や障害の程度を踏まえた行事となっていると思いますか。	3.53	8	7	0	0
特色ある 教育活動	21	ハローウィック水泳やフロッアホッケーなど、体育的な活動を取り入れた特色ある教育活動が十分に行われていると思いますか。	3.29	6	7	0	1
情報公開	22	ホームページやPTAにより、学級・学年などを通じて、学校の情報提供や情報の共有が十分に行われていると思いますか。	3.40	8	6	0	1
教職員	23	教職員は職務にふさわしい服装や身だしなみ、節度ある行動や態度がとられていますか。	3.63	12	2	2	0
	24	教員はお子さんのことを理解していますか。	3.63	10	6	0	0



内部評価(教職員評価)



保護者評価



北海道教育委員会教育長 様

北海道八雲養護学校長 木村 健治 印

次のとおり平成24年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- ・八雲病院との連携強化と児童生徒の医療情報を共有し、危機管理体制の整備を図る。
- ・新教育課程の適切な編成・実施と後頭部の全面実施に向けた整備を図る。
- ・教職員個々の特性や創造性の発揮と授業を中心とした研修の充実を図る。
- ・教育活動の評価と改善策の実施に努める。
- ・地域の特別支援連携協議会、自立支援連携協議会等の運営に関わるなど、センター的機能の充実に努める。
- ・学校事故の防止と教職員の服務規律の保持に努める。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	・各教科等を合わせた指導等をどのようにおさえているかが、ぼやけてきており、学習で何を教え、何を評価するかを明確にする必要がある。 ・特色ある教育活動の発信不足。	・今後も一人一人に合った方法で指導をお願いする。 ・特色ある活動は行われているが、情報発信を更に充実し、周知のために映像等を使用し、理解を促してはどうか。
改善方策	・新学習指導要領を基に各教科等の押さえを整理し、周知徹底を図る。 ・学校便りや懇談等の機会に、映像なども利用しながら理解・啓発を図る。	
生徒指導	・保護者への健康・安全教育に関する情報発信の不足。 ・心理的ケアの指導に関する情報不足。	・保護者への情報発信・内容の明確化を。 ・生徒に関する理解を事前に十分に行ってほしい。また、生徒の気持ちにより添って取り組んでほしい。
改善方策	・HPや学校便り、保護者懇談等で丁寧に説明をし、学校の取組について知らせる。 ・心理的ケアに関する資料配付と児童生徒の情報共有の強化を図る。	
進路指導	・進学や入院、それ以外の進路について、進路指導の進め方が示されておらず、個々に任されている。	・受け入れ側への進め方が必要（就職）。 ・進路と卒後の流れをわかりやすく示し、卒後を見据えた進路指導を充実させてほしい。
改善方策	・今年度中に進路指導に関する方針を担当部署が中心に作成し、職員への周知徹底を図る。	
組織運営	・教職経験が浅い職員が多く、経験を有する職員が業務を抱え込む傾向にある。そのため、業務が滞る場合がある。	・担任や教科担当の引継ぎを徹底してほしい。 ・細かな記録をお願いしたい。 ・校内業務の分担等、偏らないように。
改善方策	・経験が浅い職員でも業務が円滑に遂行できるよう、各部署においてデータの整理と管理、ファイルの一元化を進める。	
研修研究	・病弱養護学校としての基本的な研修の実施と効果的な研修の推進が必要である。	・研修機会を増やし、得たことをフィードバックできる環境が必要。 ・教職員は、よくやっていると思う。
改善方策	・教職員のニーズに基づく研修の実施、効果的な研修費の運用と研修報告の共有推進。 ・授業公開と授業研究の実施により授業力の向上を図る。	
地域連携 交流学習	・PTA活動の低迷。 ・相手校との一層の連携を図り、交流及び共同学習の充実を図る。	・PTA活動の内容を明確にし、保護者が集まる機会を多くしてはどうか。 ・無理のない交流を続け、内容の充実を。 ・学校後援会の力を借りてはどうか。
改善方策	・HPや便りなどで保護者や地域へ情報や教育活動の様子を積極的に発信する。 ・交流校への事前説明など、情報発信と理解推進。	
公表方法	・HP掲載 ・学校だよりに掲載	

3 添付資料

(1) 内部評価・保護者アンケート集計結果 (2) 学校評価について

平成24年度 学校評価のまとめと今後の方向性について

北海道八雲養護学校

今年度の学校評価の回収率は、教職員100%、保護者88%の回答がありました。また、自由記述については昨年度同様で教職員23件+保護者7件の計30件でした。評価点の平均値2.5点ですが、相対的に低い項目や昨年度と比較して変動が大きかった項目について説明いたします。

なお、教職員の評価は、基本、自己の実践の達成状況を評価してもらっています。

1【教職員評価】

○全体的には昨年度と同様

○項目1「教育目標の達成」と項目2「ニーズの反映」が昨年度から若干下がっています。

教育目標が新しくなったこともあり、教職員一人一人が十分に目標を読み砕いて実践に反映させるまでには至っていなかったと考えます。理由としては、教職員数の減少に伴い、経験者の転出が多く、転入に経験者が少なかったことが左右していると考えられます。

→学校教育目標について職員会議や学部会で再度理解の徹底を図り、目標から具体的な手立てが立てられるよう参考となる資料を提示します。また、必要に応じて保護者と電話等で連携をとり、児童生徒に関する状況の共通理解を図ります。病棟とは、普段から声をかけて児童生徒の情報を得るなど連携を密にしていきたいと思います。

○項目3「組織的運営」と項目4「PDCA」(3.00未満)

業務が特定の人に偏ったり、個人や係が業務を抱え込んだりし、結果的に仕事の遅延を引き起こしたり、業務が経験則で行われてきたりすることもある、教職経験が少ない教員が多い中で、業務にどう取り組めばよいかかわりにくくなっていたと考えます。

→まずは、業務をわかりやすく整理することが重要であり、業務に関しては、計画から反省までのデータをしっかり残すよう係で取り組みはじめています。

次年度は、係毎に業務ファイルを集約し、担当者がいなくても引き継げるようにしていきます。

また、1業務を複数で取り組むよう進めたり、各業務の進め方を協力して行えるよう見直して、計画して取り組みたいと思います。

○項目9「学習評価・説明責任」(3.00未満)

本校の各教科等や各教科等をあわせた指導をどのように押さえるかがぼやけてきているため、学習の評価で何を評価したらよいのか迷う面が見られます。

→次年度に向けて、各教科等や各教科等をあわせた指導で、何を指導するかの押さえを明確化し、新学習指導要領に合わせて教育課程を見直しました。次年度に向けて教職員全員で周知し、学習指導に反映するとともに教員個々が学習に対し説明できるように努めます。

○項目12「交流及び共同学習」と項目13「いじめへの取組」(3.00未満)

・項目12に関しては、小・中学部の評価点が低いです。学校間交流は高等部では2校計4回、小学部は2回、中学部は1回行っています。同年齢の集団との関わりの重要性を教職員は認識しているものの実際には、充実した交流ができていないことに課題を感じていると考えます。

→小・中学部の交流相手校に働きかけ、来校回数増をお願いすると共に交流の方法についても検討したいと思います。また、児童生徒の状況について関わり方や事前に情報をしっかり伝えることで充実した交流となるようにしたいと思います。

・項目13に関しては、教職員にいじめに関する情報が十分に伝わっていなかったことが考えられます。そのため、指導をどのように進めてよいのかわからなかったのではないかと考えます。

→現在指導している道徳等の内容がいじめ防止の指導となっていることや普段の児童生徒との関わりが防止対策になることを伝えると共に起きた場合を想定した対応手順を関係部署と協議します。また、学校便り等で保護者へ普段の様子や関連する情報を発信します。

○項目15「資質の向上」(3.00未満)

比較的に自主的研修を行っている方が評価点を低くつけている状況もあるため、逆にいえば研修意欲が高まっているとも考えられます。

→教職員の研修ニーズを把握し、校内研修の計画を立てて進めます。また、今年度同様授業公開

と授業研究を積極的に行い、教員の授業力の向上を図るよう努めます。

○項目20「キャリア教育」、項目21「進学指導」、項目22「自己表現力」(3.00未満)

キャリア教育については、本校の進路指導をどう押さえ指導していくかの流れが示されておらず、キャリア教育という言葉自体の押さえにも温度差があり、共通化されていませんでした。また、自己表現力については、児童生徒が抱える全体的な課題です。

→進路指導についての押さえを作成し、共通理解を図ります。また、キャリア教育については、さらに研修を深めます。自己表現力については、個々の「自立活動」の目標や手立て等をより具体化できるように資料を準備し、スモールステップで進めていきたいと思ひます。

○項目24「心理的ケア」(3.00未満)

心理的ケアについては、児童生徒の状態に応じた指導や対応となり、長期にわたる場合もあるため、教員側の「うまく指導できた！」という実感が持ちづらいと考えます。

→項目22の解決策と同様に、個々の「自立活動」の目標や手立て等をより具体化できるように資料を準備し、スモールステップで進め、評価していくことを周知します。また、これまで同様に必要に応じて児童生徒の情報を共有し指導に一貫性をを持たせていきたいと思ひます。

2【保護者評価から】

全体的には、1項目を除いて評価点は3以上となっていますが、昨年度より評価点は減になっています。昨年度平均3.62で今年度は3.48となっています。

○項目2「教育目標」(3.48以下)

学校の教育方針の説明が十分ではなかったと思ひれます。D評価1名で他はA・B評価です。

→保護者の集まる機会できれやすくて丁寧に説明するのみならず、学校便り等を利用して、学校としての考えを適宜発信し、理解を得ていきたいと思ひます。

○項目12「進路指導」と項目13「進路情報の提供」の進路指導に関する項目(3.48以下)

昨年度より評価は全てA・Bの評価で微増。項目12と13を比較すると13の方がやや低い。

→学校における進路指導の押さえを明確にし、適切な進路指導を行えるよう準備します。保護者との情報交換をし、適切な情報を発信していきたいと思ひます。

○項目15「PTA活動」(3.48以下)

昨年度より10%以上評価点が下がった項目。今年度から、PTAの業務を新部署（分掌）に移行等で保護者の方に十分情報をは発信し切れなかったことや会員数の減少もあり、活発な活動になりにくい状況もあると考えます。

→年度当初にPTAだよりの発行回数やある程度の内容を決め、計画的に発行したり、学校便りなどで必要な情報を発信することで、PTA活動に関心を持ってもらい、会としての活動が見えるようにしていきたいと思ひます。

○項目16「安全教育」と項目17「健康管理」(3.48以下)

避難訓練や防犯訓練等は実際は行っていますが、情報が十分伝わってなかったことが考えられます。また、見学旅行時や日常的な児童生徒の健康安全面での対応について不安を持っていることも考えられます。

→学校便りや通信で避難訓練等の実施状況や学校としての取組を知らせるようにしたり、病棟と健康に関する情報交換を日常的に行うよう更に進めたりしたいと思ひます。健康面への対応については、病院の協力を得ながら事前にシミュレーションし、必要な研修を受けるなどしていきたいと思ひます。

○項目21「特色ある教育活動」(3.48以下)

学校として、ハロウィック水泳法など特色ある取組があります、保護者に十分伝わっていません。と考えられます。

→学校便りや保護者との茶話会等を通じて、映像を活用したりしながら学校の取組について伝え、理解を得ていきたいと思ひます。

○項目22「情報公開」

学部によってHP掲載内容に偏りが一部みられた。また、PTA便りの発行回数が少なかったり、学校便りの内容が時期にあった適切な内容となっていない部分もみられた。

→HPは、学部間で偏りが出ないように内容を調整に努める。また、PTA便りや学校便りは発行回

数や発行時期、掲載内容を吟味し、計画的に発行する（関係部署ごと）

●項目11「個別の指導計画」

昨年の反省が反映され、評価が上がっています。実態にあった指導計画となっていたことと丁寧な説明がなされたためではないかと考えています。

○その他（自由記述から）

- ・教職員としての適切な態度と対応について
- 次年度も月1回程度のコンプライアンス等に関わる研修を実施し、公務員としての自覚を促していきたいと思います。
- ・新入生に対し、新人、クラス担任を持たせることについて
- 校内の人事は、現在勤務している教職員の適正や能力、免許や経験数を鑑みながら行っています。しかし、本校のように教職員の人数が減り、経験者が異動したり、教職経験者が少ない教員が多いところでは、その中でバランスを考えた配置となるので、やむを得ないところを御理解いただきたいと思います。また、そのために担任と学校の関係部署が連携して情報を伝える体制を今後も強化していきたいと思います。
- ・評価項目に「わからない」等の評価欄を入れてることについて
- 教職員評価の用紙とも関わるので、次年度に検討したいと思います。